

千秋だより

※ 発行者
千秋町連区地域づくり協議会
千秋町佐野字郷前2762番地
電話28-9010

千秋町地域学校外活動

世代間交流ゲートボール大会開催

明るい魅力ある町づくりをめざし、夏休み子どもたちとの交流を目的とした世代間交流ゲートボール大会が、千秋町老人クラブ主催で8月25日(土)に開催された。参加者は、やさしい競技と普通競技に別れチーム対抗で熱戦が展開されたが、その成績は次のとおり。

〔やさしい競技〕

優勝／町屋Bチーム

準優勝／佐野Bチーム

三位／小山Bチーム

〔普通競技〕

優勝／佐野Aチーム

準優勝／天摩団地チーム

三位／佐野Cチーム



(やさしい競技優勝／町屋Bチーム)



(準優勝／佐野Bチーム)



(三位／小山Bチーム)

※暑い中、役員の皆様も大変お疲れ様でした。
▽



(三位／佐野Cチーム)



(準優勝／天摩暖地チーム)



(普通競技優勝／佐野Aチーム)

鮎つかみ大会開催

8月25日(土) 公民館魅力ある地域づくり事業の新しい企画として行われた。主役の子どもたちは、駐車場内に作られた特設プールに入り、歓声をあげながら鮎を追いかけた。

捕まえた鮎は、その場で塩焼きにされ、焼きたてをほおばりながら夏の終わりを楽しんだ。



千秋町連区自主防 災訓練にご参加を

日程 10月28日(日)

午前9時開会

会場 千秋中学校運動場

雨天のときは

屋内運動場

千秋町連区では、自主防災会連絡協議会主催で自主防災訓練を千秋消防出張所及び千秋北・南分団の協力を得て今年も開催します。是非この機会に地域防災に対する認識を深めていただきたいと思います。



千秋三小学校 合唱祭で奨励賞

一宮市小学校合唱祭が、8月25日(土)市内21校973人が参加し、一宮市民会館で行われました。どの学校もすばらしい歌声で、感動を覚える合唱ばかりでした。千秋三小学校の取り組みを紹介します。

千秋小

少人数で大きな響きを

千秋小学校は4～6年の合唱部21名が参加し、「ぼくは雲雀」「自転車でにげる」「栗の実」を合唱しました。

練習を始めた6月は人数や声量が心配でしたが、回を重ねるごとに、子どもらしい元気の良い声で歌えるようになっていきました。本番では、一人一人が練習の成果をいかななく発揮し、市民会館に大きな響きを残すことができました。



千秋南小

「歌声で心を一つに」

千秋南小学校は4～6年生の合唱部37名で参加し、「ぼくは雲雀」「二十歳」「BELIEVE」の三曲を合唱しました。

夏休みに入って暑い日が続く中、一生懸命練習に励んだ成果を発揮し、みんな力いっぱい歌いました。会場のみなさんからも大きな拍手をいただき、満足のうちに合唱祭を終えることができました。



千秋東小

「チームワークを大切に」を合言葉に

千秋東小学校は5・6年生101名全員で参加し、「なぎさ道」「ぼくは雲雀」「君をのせて」を合唱しました。

今年は屋内運動場が工事のため図書館で練習を行いました。高い声を出したり、ハーモニーを響かせたりするのに苦労しました。当日は、みんなで協力して歌い、練習の成果を発揮することができました。



市中学生海外派遣

笑顔と絆の交流発見・自分磨きの旅

8月4日(土)から11日(土)

までの8日間、一宮市中学生海外派遣団の一員として、千秋中学校から生徒1名が参加し、中国を訪問しました。以下は、派遣生徒の感想です。

中国では、北京・西安・上海の3都市の歴史的建造物や街並みを見学し、現地の中学生とも交流しました。

万里の長城や故宮、華清池などは、どれも予想以上の大きさで、昔の人でもこんなに壮大な建造物を造ることができたことに驚くとともに、皇帝の権力の大きさを感じました。現地の中学生との交流会では、言語が違い、会話がうまくできなくても、身振り手振りや顔の表情で、人はいかなにも心が通じ合えることに感動し、楽しい時間を過ごすことができました。

世界一人口の多い中国はどこを訪れても、あたり一面、人で埋めつくされていて、た



ただただ圧倒されるばかりでした。また、実際に行ってみないと体験することのできない中国のにおいや食べ物や五感を使って感じることができました。

この海外派遣では、ともに8日間を過ごした仲間との絆や現地の中学生との交流で自然にあふれ出た笑顔など得たものは数えきれません。一生忘れられない思い出をつくることができ、このような機会を与えていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

千秋中学校区「コミュニティ・スクール」 小中合同研修会開催

8月22日(水)午前、千秋公民館で、千秋中学校区コミュニティ・スクール小中合同研修会(全教員参加)を開催しました。前半は講演会、後半は小中合同ミーティングを行いました。

前半の講演会は、伊串博先生(前神山小学校長)をお招きして、「未来は全て学校から始まる ―教師が学べば、子どもは育つ―」と題して、講演をしていただきました。伊串先生の長年の経験と幅広い知識に基づく話はとても刺激があり、学びの多い講演でした。講演の一部を紹介します。

・子どもは未来からの訪問者。学校は「楽しい、明るい、元気」が大切である。不灯校(明るさがない学校)になれば、不登校が生まれる。
・学校は組織力が大切。チームでなくてはいけない。課題はみんなで解決することが

大切である。

・学校の使命・役割は、当たり前のことができる子どもを育てること。自分で自分を



コントロールできる子どもを育てたい。自分の行動に責任をもつ子どもを育てたい。
・コミュニティスクールは、多くの人と出会い、自分を高めることが原点である。

・伸びる教師の8条件。「素直・謙虚」「言い訳をしない」「向上心」「根気強さ」「研究工夫を怠らない」「感性が豊か」「感謝ができる」「基本的生活習慣が身についている」...

本当に多くのことを教えていただきました。最後に、

心に残った言葉を紹介しましょう。「自分が変わること子どもが変わる。教師が伸びれば子どもは伸びる。」

これからの未来を担う子どもたちのために、日々の教育に全力投球しなければと心に誓いました。

後半は、小中合同ミーティングを6つのグループに分かれて行いました。今回のテーマは「言語活動の充実を図るための話し合い活動の工夫と課題」です。各学校で取り組んでいる現状を情報交換しました。授業や、朝や帰りの会での取り組みなど、これは使えそうだなというアイデアが数多くありました。ただ、取り組みが学級や学年での取り組みで系統性にやや欠けるという課題が浮彫りになってきました。今後は小中連携・小中連携を密にして、言語活動の充実を図っていきたいと考えています。



保健室から

「黒板の文字、よく見えない人はいませんか？」

10月10日は、目の愛護デーです。

勉強や読書、パソコン、携帯電話、ゲームなど、日常生活において私たちは絶えず目を使っています。

私たちの身体の機能の中でも、目から得られる情報は、全体の80%ともいわれています。目の状態は、生活の仕方と深く関わっているのです。「目が疲れた」と感じたら、こまめに休憩をとりましょう。おおよその目安は

「裏面につづく」



「一時間作業→10分ほど休憩」です。
最近はやりの携帯ゲーム機を、時間を忘れて夢中になっている子どもたちも多いようです。しかし、視力を下げる原因にもなるので、付き合い方を考えたいですね。各学校では、秋にも視力検査を実施します。この機会に、目に優しい生活を目指し、次の点も見直したいですね。

●**照明・採光について**
目に入る光が明るくなりすぎないように、部屋の照明や画面の明るさなどを工夫する。

●**姿勢**
寝転がった姿勢での読書やゲームは×。椅子に腰掛けるなど、正しい姿勢を心がける。

一宮警察署 からのお知らせ

みなでつくろう安心の街

～ 防犯対策何事にも最良の掛かりが大切です ～

10月11日から20日までの10日間「秋の安全なまちづくり県民運動」が行われます。自分の身のまわりの防犯について、考えて見ましょう。

住宅を対象とした侵入盗の約3割は、カギの掛け忘れや開け放し箇所からの侵入によるものです。侵入盗は、生活の拠点に侵入し強盗にもなりうる危険な犯罪です。快適な暮らしを続けていくために防犯の基本を守りましょう。

防犯の4原則

(ドロボウが嫌うもの)

犯罪を防止するための4つの原則、それは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づいた対策を組み合わせて、より大きな防犯効果が得られます。

時間・侵入されるのに時

間のかかる建物部品を！
光・家の周りを明るく！
音・警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる！
地域の目・住民同士の連携、不審者への声かけを！

ありがとう 孫から教わる
交通ルール
高齢者を事故から守りましょう

高齢者の方が交通事故に遭わないために

歩行者

横断は、横断歩道等安全な場所で、左右をよく確認して速やかに渡りましょう。また、横断中も安全確認に努め、左右から来る車に注意しましょう。車の直前直後の無理な横

断はやめましょう。「まだ大丈夫」では危険です。「もう大丈夫」になるまで待つて、横断を開始しましょう。

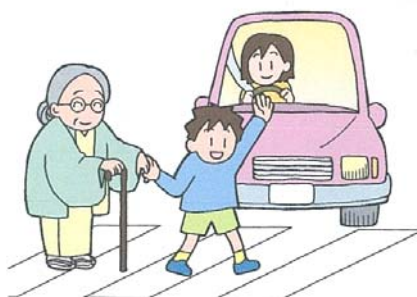
自宅近くの場所で多くの方が交通事故に遭っています。通り慣れた道だからと油断は禁物です。慣れた道だからこそ十分注意して下さい。

自転車

一時停止の標識のある場所や見通しの悪い交差点では、必ず止まって、左右の安全確認をしましょう。夜間はライトを必ず点灯しましょう。

二輪車・四輪自動車

反射材等の事故防止器材を積極的に活用しましょう。
一時停止の標識のある場所や見通しの悪い交差点では、必ず止まって、左右の安全確認をしましょう。
交差点を右折する時は対向の直進車と右折先の横断歩道に、また、直進する時は対向の右折車に十分注



意しましょう。
加齢に伴う身体機能の低下(特に視力、判断能力)を自覚して運転しましょう。
体調がすぐれないときは運転を控えましょう。